



第30号

平成26年 9月12日

発行 宮城県多賀城
高等学校同窓会
翔朋会

四十周年を目前にして

翔朋会会長 及川佳洋



先日1回生の会が開催され、参加させていただきました。

当日は会場のホテルに約五十名の1回生と1回生所縁の恩師の先生約十名を囲んで楽しいひと時を過ごさせていただきました。

準備にあたられました、発起人の皆様にご心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、多賀城高校は間もなく創立四十周年を迎えます。学校、PTA、教育振興会、同窓会を中心に記念事業の実

行委員会も組織され、記念式典等の準備も始まったところです。

四十周年を目前にして改めて思い出されるのは、多賀城中学校の体育館をお借りしての開校式と入学式、塩釜高校多賀城分校(現貞山高校)に急ごしらえて作られたプレハブ校舎での授業、野外活動センターでの合宿オリエンテーション、現在の校舎に移転した日にA棟屋上から見た荒れたままの校庭、体育の授業という名の土木作業、懐かしい友人の笑顔や泣き顔などなど卒業まで過ごした三年間の、懐かしく楽しかった思い出の数々でありました。

題字紹介
「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

会員の皆様にはそれぞれに、三年間過ごした多賀城高校の一日一日がよき思い出であろうと思います。月日は流れても、年代は違っても、またまさに今この時も、これから、後輩たちの心に楽しい思い出を日々きざみ続けていく我が母校に感慨ひとしおなのは、寄る年波なのかと些か寂しくもある今日この頃であります。



第35回 翔朋会総会

会長	及川 佳洋	一回生
副会長	石橋 和雄	二回生
副会長	渡辺 文昭	三回生
副会長	瀬戸口 真弓	四回生
副会長	高橋 和人	五回生
副会長	高橋 三弘	八回生
副会長	武田 英久	二回生
副会長	梅津 利昭	事務室長
副会長	早坂 利昭	事務室長
副会長	針生 美由紀	四回生
書記	横山 卓哉	八回生
書記	大内 昭浩	四回生
書記	千坂 成也	七回生
書記	磯比呂 志	八回生
書記	植杉 淳一	一五回生
書記	見立屋 雅子	二六回生
幹事	小泉 博	校長
幹事	佐々木 克敬	教頭
幹事	矢部 鋼治	総務部長
幹事	熊谷 友見	総務部長
幹事	菊田 みどり	事務局長
事務局長		事務局長

翔朋会役員(案)

第36回 翔朋会総会のご案内

日時 平成26年10月18日(土)
 総会 18:00~18:30
 懇親会 18:30~20:30
 会場 ホテル・キャスルプラザ多賀城
 会費 4,000円
 (当日会場で徴収いたします。)
 ※ただし36回生は1,000円。

○今回の幹事学年は、以下の4つの回生の方々です。

- 6回生 (昭59年3月卒業)
- 16回生 (平6年3月卒業)
- 26回生 (平16年3月卒業)
- 36回生 (平26年3月卒業)

※それぞれの同期の方をお誘いください。

○同封のFAX用紙もしくはメール(アドレスはFAX用紙に記載)でお申込みください。

旧職員の先生方が参加します

今年の総会の幹事学年が6回生、16回生、26回生、36回生となることから、該当卒業生を担当されました当時の3年生の先生方に第36回懇親会のご案内を差し上げたところ、下記の先生方にご出席いただけることになりました。

6回生	5組担任 菅原 喜吉 先生	26回生	学年主任 伊藤 尚宏 先生
	8組担任 矢吹 隆志 先生		6組担任 平岡 太郎 先生
16回生	2組担任 庄子 英利 先生	36回生	確認中
	3組担任 金 和宏 先生		

翔朋会の輝き

校長 小泉 博



翔朋会の皆さまには、世界各地でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより母校の発展にご協力をいただき心から感謝申し上げます。私は、四月の人事異動で中村勝彦校長の後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、平成二十七年四月に創立四十周年を迎えます。来年の十月十七日には多賀城市文化センターを会場に記念式典を予定しております。現在、同窓会役員のご参加も得て記念事業実行委員会が設立され準備を進めております。また、同窓会役員会では祝賀会と同窓会総会を兼ねて開催する方向でご検討いただいておりますので、同窓生の皆さまも多数お集まりください。

さて、現役生徒の活躍について二つのことをお伝えします。まず一つは地域でのボランティア活動についてです。

本校では現在、貞山公園の清掃ボランティア活動を部活動単位で実施しており、地域の皆さんから大変好評です。また、今年度はボランティア同好会も結成され、様々な活動に参加しております。マスクミにも取り上げていただいた、震災の記憶を伝承する津波標識設置活動も継続しております。こうした地道な活動を通じて地域の皆さんから本校や本校生のことを理解していただくことはとても大切だと考えますが、何より活動する生徒自身の心の成長が得られるものと考えています。

二つめは部活動の様子です。詳細は活動報告に譲りますが、弓道女子団体が総体準優勝、柔道部男子66kg級で第三位となりそれぞれ東北大会に出場しました。また、水泳飛込みでは総体優勝に加え、東北大会でも個人、団体ともに優勝し二年連続のインターハイ出場となりました。こうした輝かしい成果は、これまで多くの卒業生の皆さんが培ってこられた伝統のお陰と考えています。今後とも、折にふれて後輩たちの活躍を後押ししていただければ幸いです。

ところで、同窓生の中には東日本大震災で大変な被害に遭われた方もいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げます。すでにご承知とは思いますが、本校は平成二

十八年度に災害科学科（一クラス四十名定員）を開設いたします。全国で二番目の防災系学科となりますが、災害をキーワードに、科学する心、人を思いやる心を培い、命の大切さを学べるよう理系の教科を柱にした学科となります。詳しくは本校のホームページをご覧ください。現在の中学二年生が一回生となりますので、お子さまの進学先として大いにご検討ください。

普段は同窓会の存在を意識しないものだと思います。しかし、困ったときほど同窓生のつながりに助けられることも多いはず。翔朋会の皆さまは、「さとく」「ゆたかに」「たくましく」を校訓に切磋琢磨した三年間を共有されています。同窓生相互の交流がこれまで以上に活発となり、翔朋会の輝きが増し、その力が在校生にも届くようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

水泳部

インターハイに出場して

二年一組 遠藤 朱莉
八月十七日～十九日に、千葉で行われたインターハイ飛込種目の結果は、女子高飛込が18位、女子3m飛板飛込が24位で、両方とも予選敗退でした。今年には自信をもって臨めたのですが、練習通りの動きができず、悔いが残る試合と

なってしまうました。来年は最後のインターハイなので、表彰台に登りたいです。

八月二十六日～二十九日に大阪でJOCジュニアオリンピックがあり、九月十二日～十四日に福岡で国体があるの、気を抜かず最後まであきらめることなく、悔いの残らない試合をしてきます。

このように色々な大会に出場できるのも、周りの方々の支えのおかげだと思っています。感謝の気持ちを忘れずに試合に臨みたい。一生懸命頑張ってくるので、応援よろしく願います。

弓道部

東北大会に出場して

三年七組 三浦 恵香
六月二十七日～二十九日に福島県郡山市で開催された東北大会では、たくさんの方々の応援を励みに大会に臨みました。残念ながら、決勝トーナメントまで勝ち進むことはできませんでしたが、選手たちは最後まで堂々と多賀城高校の射を見せてくれました。皆さんの応援が力になりました。本当にありがとうございます。

柔道部

東北大会に出場して

三年六組 佐藤未来仁
東北大会で対戦した選手は私よりも格上で、残念ながら初戦敗退というとても悔しい

結果でした。この経験を今後に生かしていきたいと思えます。応援ありがとうございます。

事務局からのお知らせ

- ・年会費二〇〇〇円の納入にご協力ください。翔朋会の運営を充実させるため、母校の発展のために使わせていただきます。
- ・来年度（平成二十七年度）に四十周年を迎えることに伴い、会報の紙による発行を来年度までとし、今後は同窓会のホームページを開設し、会報を載せていくことを検討しています。予算削減、情報発信の迅速化のためですので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・卒業後の住所変更等は随時受け付けております。お名前や卒業年度（回生）、変更後の住所をご記入の上、同封のFAX用紙やメールにてご連絡ください。

◎今年進路状況

(合格者のべ人数)

国立大学・大学校	47
私立大学	315
国立短期大学	1
私立短期大学	7
専修(各種)学校・その他	37
就職(公務員)	4
合計	411

2014 県高校総体結果

☆男子ソフトテニス部

団体戦
 1 多賀城②—1 仙台
 2 多賀城②—1 仙台
 3 多賀城①—② 角田
 個人戦
 1 多賀城①—② 角田

☆女子ソフトテニス部

団体戦
 1 多賀城②—1 仙台
 2 多賀城②—1 仙台
 3 多賀城①—② 角田
 個人戦
 1 多賀城①—② 角田

☆女子ソフトテニス部

団体戦
 1 多賀城②—1 仙台
 2 多賀城②—1 仙台
 3 多賀城①—② 角田
 個人戦
 1 多賀城①—② 角田

☆ラグビー部

2 多賀城 43—12 佐沼
 3 多賀城 0—42 気仙沼向洋
 順位決定戦
 多賀城 0—33 仙台南

☆水泳部

遠藤 朱莉
 女子 1 M 飛板飛込 第1位
 女子 3 M 飛板飛込 第1位
 女子 高飛込 第1位
 女子 飛込 第1位

☆男子テニス部

団体戦
 1 多賀城 2—0 仙台商(勝)
 2 多賀城 0—2 仙台二(負)
 個人戦
 シングルスベスト32 福山 拓郎
 ダブルスベスト32 福山 拓郎 拓郎・櫛引 貴之

☆女子テニス部

団体戦 多賀城 2—0 蔵王

☆男子バレーボール部

1 多賀城 2—0 仙台商山(勝)
 2 多賀城 0—2 東陵(負)

☆女子バレーボール部

多賀城 0—2 登米 1 回戦敗退

☆弓道部

団体戦
 男子 (ベスト16入りならず)
 女子 準決勝2位通過
 上位5チームにより決勝リーグ戦
 多賀城 11—13 角田
 多賀城 13—11 泉松陵
 多賀城 13—11 富谷
 2勝2敗 的中数により第2位

☆山岳部

個人戦
 男 三浦 佑 12射9中
 女 大寺 文乃 準々決勝進出 第8位

☆男子バスケットボール部

1 多賀城 71—60 角田
 2 多賀城 71—99 仙台商

☆女子卓球部

団体戦
 1 多賀城 3—0 石巻市女(勝)
 2 多賀城 0—3 聖和(負)
 個人戦
 鈴木奈々保 4 回戦進出 ベスト32
 岩佐 夏海 3 回戦進出 ベスト64
 高橋 朋子 2 回戦進出

☆剣道部

男子
 多賀城 2—0 尚絅学院
 多賀城 0—2 聖和 ベスト16
 多賀城 3—1 泉館山
 決勝トーナメント
 1 多賀城 3—0 白石
 2 多賀城 0—4 仙台二

☆陸上競技部

個人戦
 武田 4 回戦進出
 櫻井 1 回戦敗退
 女子
 伊藤 1 回戦敗退

☆柔道部

男子 66kg級
 1 回戦 ○佐藤(多賀城) 内股
 2 回戦 ○山口(石巻工)
 3 回戦 ○佐藤(多賀城) 大内刈
 準決勝 ○佐藤(多賀城) 内股
 ○伊藤(米山)
 ○岡本(仙台商)
 ○日野(東北) 横四方
 △佐藤(多賀城)
 第3位【東北大会出場】

☆男子バドミントン部

団体戦
 1 多賀城 3—1 宮城第一
 2 多賀城 2—3 古川

☆女子バドミントン部

団体
 多賀城 3—0 気仙沼向洋
 多賀城 3—1 仙台商山
 多賀城 0—3 尚絅学院
 (3 回戦敗退) ベスト16

☆吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール予選
 第57回宮城県大会高等学校の部 金賞

☆合唱部

NHK全国学校音楽コンクール県大会
 全日本合唱コンクール県大会 銅賞 銀賞

☆水泳部

遠藤 朱莉
 女子 3 m 飛板飛込 第1位
 女子 高飛込 (インターハイ出場) 第1位
 女子 飛込 (インターハイ出場) 第1位
 学校対抗得点 第1位

☆弓道部

女子 団体戦 予選敗退
 佐藤 未来仁 個人 66kg級 1 回戦敗退

☆水泳部

遠藤 朱莉
 女子 3 m 飛板飛込 予選敗退
 女子 高飛込 予選敗退

今年度の異動

- ★退職者
 中村 勝彦 校長
 尾口 良信 教諭
 小川 進 教諭
 奥山 恭子 教諭
 荒井 薫 教諭
- ★転入者
 小泉 博 校長 富谷高から
 佐々木克敬 教頭 高校教育課から
 尾口 良信 教諭 再任用
 小川 進 教諭 再任用
 三品 裕昭 教諭 県工業高から
 佐竹 明浩 教諭 小田田農林高から
 佐藤 徳頭 教諭 高校教育課から
 菅野勇太郎 教諭 佐沼高から
 早川 潤 教諭 古川高から
 佐々木淳一 教諭 古川黎明高から
 佐藤 寿正 教諭 白石高から
 熊谷 友見 教諭 仙台一高から
 片寄 昌子 教諭 育休から職務復帰
 今泉 晃広 教諭 公私間交流から復帰
 三浦 美香 実習講師 迫支援学校から
 村上 貴宏 主任 子育て支援課から
 早坂 純 技師 宮城野高から
 佐々木希望 非常勤講師
 佐藤 壮 非常勤講師
- ★転出者
 栗野 琴絵 教頭 県図書館へ
 二階堂 衛 教諭 仙台商へ
 千葉 祥 教諭 泉館山高へ
 谷藤美貴子 教諭 石巻工高へ
 早坂 昌樹 教諭 石巻好文館高へ
 石垣 光朗 教諭 仙台商へ
 高松 泰之 教諭 石巻高へ
 佐藤 佳彦 実習講師 利府高へ
 三浦 龍一 主幹事務次長 教職員課へ
 塩崎 武彦 技師 仙台商高へ

インターハイ結果

女子 3 m 飛板飛込 予選敗退
 女子 高飛込 予選敗退

平成25年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成25年 4月1日～平成26年 3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,540,000	1,540,000	0	卒業時入金金 3,600円×275人 卒業時会費 2,000円×275人
年度会費	2,000	260,880	258,880	同窓生より振込
繰越金	546,539	546,539	0	前年度より繰入
DVD売上費	0	0	0	
雑収入	61	85	24	預金利息
合 計	2,088,600	2,347,504	258,904	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	40,000	18,230	▲ 21,770	
会議費	20,000	7,428	▲ 12,572	役員会会議費
通信費	15,000	6,980	▲ 8,020	切手代など
需用費	5,000	3,822	▲ 1,178	紙、ファイルなど
2. 事業費	1,900,000	1,529,982	▲ 370,018	
総会費	100,000	55,000	▲ 45,000	総会補助
会報費	1,300,000	1,219,997	▲ 80,003	会報発行・会員宛会報発送
補助費	300,000	108,500	▲ 191,500	遠征費補助
記念品費	170,000	146,485	▲ 23,515	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
3. 予備費	48,600	0	▲ 48,600	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金として
合 計	2,088,600	1,648,212	▲ 440,388	

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)

2,347,504 - 1,648,212 = 699,292
次年度へ繰り越し

平成26年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

1. 収入の部 2,241,400円
2. 支出の部 2,241,400円

1. 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,540,000	1,540,000	0	3,600円×275人 卒業時入金金 2,000円×275人 卒業時会費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	699,292	546,539	152,753	前年度より
DVD売上費	0	0	0	
雑収入	108	61	47	預金利息
合 計	2,241,400	2,088,600	152,800	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	40,000	40,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	役員会会議費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	5,000	5,000	0	紙、ファイルなど
2. 事業費	2,000,000	1,900,000	100,000	
総会費	100,000	100,000	0	総会補助
会報費	1,350,000	1,300,000	50,000	会報発行・会員宛会報発送
補助費	350,000	300,000	50,000	遠征費補助
記念品費	170,000	170,000	0	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	101,400	48,600	52,800	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金として
合 計	2,241,400	2,088,600	152,800	

平成25年度 翔朋会 事業報告

平成25年 6月13日(木) 第1回役員会
9月13日(金) 会報発行
10月10日(木) 第2回役員会
10月19日(土) 第35回翔朋会総会
時間:総会18時～、懇親会18時30分～
場所:ホテルキャッスルプラザ多賀城
会費:3,000円(35回生1,000円)
幹事:5・15・25・35回生
平成26年 2月18日(火) 第3回役員会
2月28日(金) 翔朋会入会式(第36回生)
5月14日(火) 会計監査

平成26年度 翔朋会 事業計画 (案)

平成26年 6月12日(木) 第1回役員会
9月12日(金) 会報発行
10月9日(木) 第2回役員会
10月18日(土) 第36回翔朋会総会
平成27年 2月 第3回役員会
2月27日(金) 翔朋会入会式(第37回生)
5月 会計監査

平成25年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	差引残高	備 考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,802,905	2,802,905	0	前年度繰越金
雑収入	435	447	12	預金利息
合 計	2,903,340	2,903,352	12	

2. 支出の部

特別会計については、周年行事に対応するため、本年度の支出はありませんでした。

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)

2,903,352 - 0 = 2,903,352
次年度へ繰り越し

監 査 報 告

平成25年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成26年 5月14日

監事 武田三弘

監事 高橋和人

平成26年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

1. 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,903,352	2,802,905	100,447	前年度繰越金
雑収入	458	435	23	預金利息
合 計	3,003,810	2,903,340	100,470	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
記念事業費	25,000	0	25,000	四十周年記念事業へ拠出
合 計	25,000	0	25,000	

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)

3,003,810 - 25,000 = 2,978,810

※宮城県多賀城高等学校創立四十周年記念事業予算へ平成26年度は25,000円、平成27年度は850,000円拠出する予定です。